

## 1. 診療科の特徴

2014年4月に開設された新しい診療科です。感染症は全身に起こり得るため診療にあたっては全身を診る必要があります。当科の研修では、感染症の診断、治療を適切に行える能力を修得するとともに、院内感染対策に必要な知識と技術を身に付けることができます。

## 2. 専門医研修の目的・特徴

### ・感染症診療

久留米大学病院内の全診療科の感染症患者に対し横断的に行う感染症コンサルテーション、症例検討、回診および感染症外来・入院診療を通じ、感染症の診断、抗菌薬の適切な選択を含めた治療が行える能力を修得することができます。

### ・ワクチン外来

増加し続ける海外渡航者の感染予防や職業感染予防目的のワクチン接種を行う海外旅行・ワクチン外来で、感染症の予防に対する知識、手技も学べます。

### ・感染対策支援

感染制御部と連携しており、病棟ラウンドやICT活動などを通じ、院内感染対策に必要な知識と技術を身に付けることもできます。

## 3. 到達目標

### 1) 一般目標 (GIO):

あらゆる感染症に対応できるように、全身を幅広く診察できる能力や的確な問診をとれる臨床能力を身につける。

### 2) 行動目標 (SBOs):

- ・ 感染症存在の認知ができ、悪性腫瘍、膠原病、薬剤アレルギーなど他の発熱をきたしうる疾患との鑑別ができる。
- ・ 病歴、臨床症状および徴候を判断し、感染部位の推定および感染症の鑑別疾患に役立てることができる。
- ・ 原因微生物を特定するための検査を自ら行える。
- ・ 病態に応じた適切な抗菌薬の選択および投与方法の決定ができる。
- ・ 感染症の感染経路を理解し、標準予防策と感染経路別の感染対策を行うことができる。

## 4. 取得できる資格・専門医

日本感染症学会専門医・指導医

インфекションコントロールドクター

日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医

日本化学療法学会抗菌薬臨床試験指導医

日本渡航医学会認定医療職

International Society of Travel Medicine (ISTM) Certificate in Travel Health

## 5. 研修スケジュール

日本感染症学会専門医申請には感染症学会が規定する研修機関を含め通算6年以上の研修が必要であるため、感染制御科での感染症コンサルテーション、症例検討、回診および感染症外来・入院診療、海外旅行・ワクチン外来などの臨床研修、感染制御部と連携したICT活動を行い、随時関連施設での研修も行う。また、感染症研究もを行い、臨床・研究の両面での学会発表・論文作成を行う。当科はマラリア、デング熱などの輸入感染症も扱っているが、これらの感染症は国内では多数の症例を経験することは困難であるため、若手医師を対象とした海外研修も毎年行う。

## 6. 必須症例数

日本感染症学会専門医申請には感染症患者30症例が必要。

## 7. 研修責任者・指導医

責任者: 渡邊 浩 教授

指導医: 後藤 憲志 講師

八板 謙一郎 助教

多々良 一彰 助教

## 8. 研修責任者より一言

感染症診療ができるということは全身を幅広く診れるようになることに他なりません。また、流行する感染症は国や地域によっても異なりますので、当科では海外研修もを行い、世界でも活躍できる広い視野をもった医師を育てていきたいと考えています。興味がある方は気軽に声をかけて下さい。

## 9. 主な関連病院

希望があれば国内・国外の施設での研修について配慮します。

## 10. 連絡先

久留米大学医学部 感染制御学講座

TEL: 0942-31-7549 FAX: 0942-31-7697

E-mail: hwata@med.kurume-u.ac.jp

担当: 渡邊 浩

ホームページURL:

<http://www.med.kurume-u.ac.jp/med/virol/jp/index.html>

<https://www.facebook.com/dicpkurume>

